

チキノミカタ ～はじまりは伝鉄から～



はじめに

現在の日本において、地方では働く場所が少ないのが現状である。若者は高校まで地元で過ごし、進学する人の多くは教育機関の多い都市部へと移動しそのまま地元には戻らず就職していく。また、少子高齢化・未婚率の増加・過疎化などの問題も、雇用の問題と直結していると言われている。

しかし、若者の農業離れ・漁業離れが進んでいるいま、本当に働く場所が少ないと言えるのだろうか。仕事（農業・漁業のような）はあっても、生活環境の善し悪しによって変わってしまうこともあり得る。

そこで、今回の提案では住民のはたらきの場所と生活のあり方、住民のミカタ（味方）と地域のミカタ（見方）について再考する。

対象地

千葉県銚子市犬吠埼

銚子市は、漁業も農業も盛んであり、水揚量は日本一、食料自給率は250%を超えている。しかし、それらを購入できる施設が少なく、漁業や農業を肌で感じることでできる体験メニューなども少ない。

また、犬吠埼灯台は灯台の中で全国1位の観光客数を誇るとともに、隣接する君ヶ浜は日本国内でもっとも早い初日の出を拝むことができる場所（高地や離島を除く）とされているように、風光明媚な景色や景観があるにも関わらず、整備されていないままとなっており、生かされていないことが見受けられる。

このようなことから、銚子へ来る観光客の約90%が日帰り客で、消費金額も少ないのが現状である。

プログラム

銚子電気鉄道

1時間に約1本という地方ならではの鉄道であり、幾度となく廃線の危機をむかえてきたが、市民によって守られてきた市民に愛される電鉄である。駅の近くには必ず学校が点在しており、学生や高齢者（自動車などの交通手段がない人たち）にとって、欠かせない存在である。

しかし、利用者は限られており、また、いつ廃線の危機をむかえても不思議ではないのが現状である。

そこで、今回の提案では、『野菜・魚介を運ぶ』という機能をもたせることで、利用者の層を増加させるとともに、購買出来る電鉄とする。

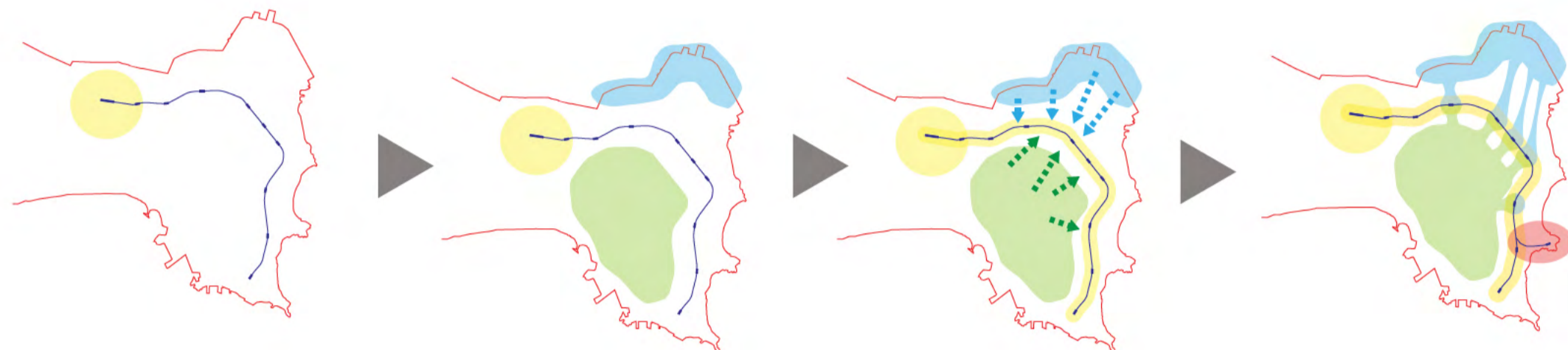
住民×観光客

犬吠という観光スポットとしてだけでなく、住民の生活の景色を観光の一部にする。常に市民によって使われる場所とすることで、活気を創出する。



概略図

概略図Ⅰ



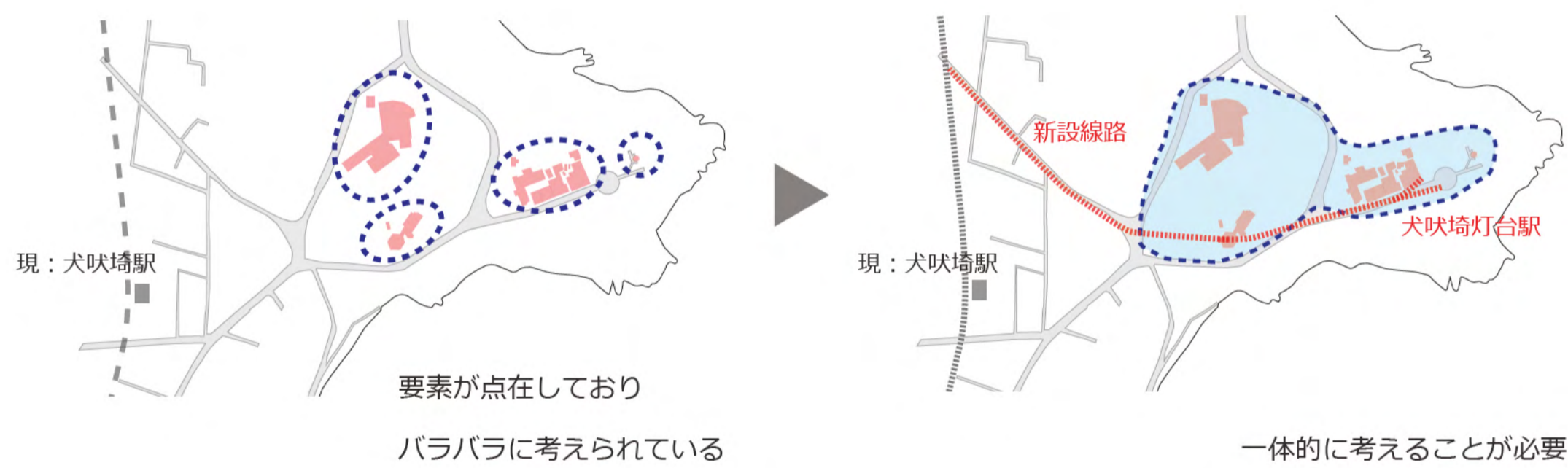
生活の核が
銚子駅周辺に集結

農業と漁業が
分断されている

鉄道を利用して
漁農混合をはかる

線路の延長により
新たな核が誕生する

概略図Ⅱ



要素が点在しており
バラバラに考えられている

一体的に考える必要がある

デザイン

□活気が見えること、歩くこと

これまで観光施設として経営されていた水族館をはじめとする施設は、屋内、敷地内で完結し、灯台や浜辺などの周りの観光資源と分断されていた。そのため、周りから人の気が見えず、結果として観光地がさびれる要因の一つとなっている。そこで人の気をなるべく屋外へ出し、活気を作り出すことで一体の空間とすることを意識した。広場を囲うように分散した水族館などの施設や、野外市場など生活風景などにより常に活気を感じられるようにしている。

□地形、場所の価値を生かす

岬という高低差の大きく見晴らしの良い立地を生かして各所に地形に逆らわない場所、機能づくりを意識した。

- 芝生広場
周りに比べ低く囲まれている土地に、安心して気軽に使える広場を設ける。その周りには託児所・水族館・図書館を配置し、生活の中で主婦や幼児、学生、観光者などの様々な人々で賑わう場所を設計した。
- 高台テラス
灯台周辺の見晴らしの良い高台には、誰でも使えるテラスを設け、落ち着いて浜を一望できる機能を設けた。高台下からの見晴らしについても考慮し、地形とテラスが一体になり活気が視認できることを重要視した。

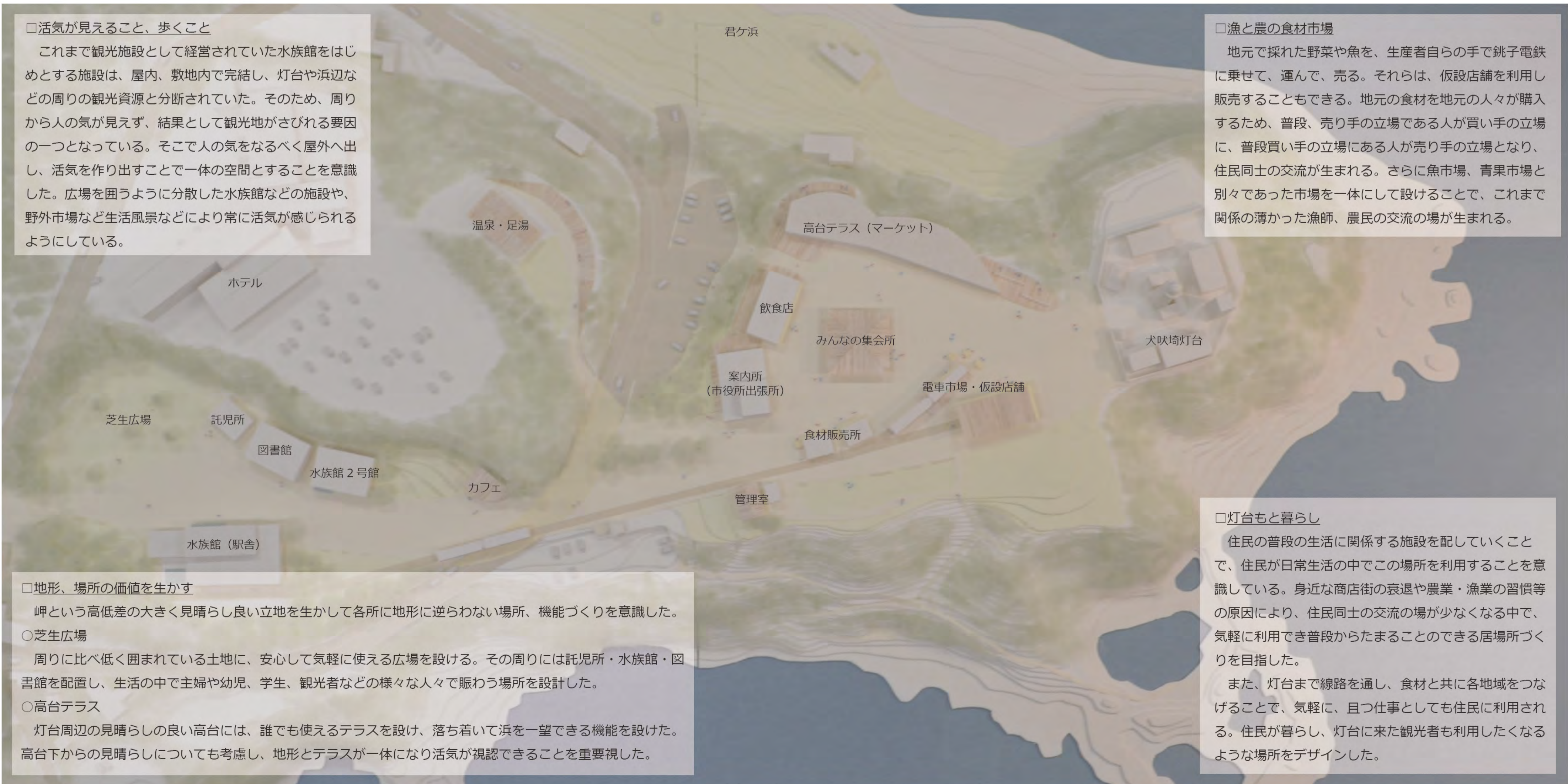
□漁と農の食材市場

地元で採れた野菜や魚を、生産者自らの手で銚子電鉄に乗せて、運んで、売る。それらは、仮設店舗を利用し販売することもできる。地元の食材を地元の人々が購入するため、普段、売り手の立場である人が買い手の立場に、普段買い手の立場にある人が売り手の立場となり、住民同士の交流が生まれる。さらに魚市場、青果市場と別々であった市場を一体にして設けることで、これまで関係の薄かった漁師、農民の交流の場が生まれる。

□灯台もと暮らし

住民の普段の生活に関係する施設を配していくことで、住民が日常生活の中でこの場所を利用することを意識している。身近な商店街の衰退や農業・漁業の習慣等の原因により、住民同士の交流の場が少なくなる中で、気軽に利用でき普段からたまることのできる居場所づくりを目指した。

また、灯台まで線路を通し、食材と共に各地域をつなげることで、気軽に、且つ仕事としても住民に利用される。住民が暮らし、灯台に来た観光者も利用しやすくなるような場所をデザインした。



模型写真

